

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信

第149号

2016年10月

やどりき水源林ニュース

発行 (公財) かながわトラストみどり財団 編集 NPO 法人かながわ森林インストラクターの会

〒220-0073 横浜市西区岡野2-12-20 神奈川県横浜西合同庁舎内

☎045-412-2255 URL: <http://www.ktm.or.jp> E-mail: midori@ktm.or.jp

定例観察会のお知らせ (費用等負担はありません)

毎週土曜・日曜の午前10時と午後1時から「NPO 法人かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。やどりき水源林ゲート前までお越しください。なお、冬季(12月・1月・2月)は安全確保のため休止します。

水源林の秋がはじまりました

秋の七草 - ススキ

やどりきの中心を流れる中津川沿いにススキの穂がでそろいました。ススキは日が短くなると花が咲き始めます。花が終わると、ふわふわの綿毛となります。秋の七草は、尾花(ススキ)、萩(ハギ)、葛(クズ)、撫子(ナデシコ)、女郎花(オシロイ)、藤袴(フジバカマ)、朝がお(桔梗/キョウジョウ)と言われ、奈良時代の歌人山上憶良(やまのうえのおくら)詠んだ歌が由来とされています。



山から素敵な贈り物

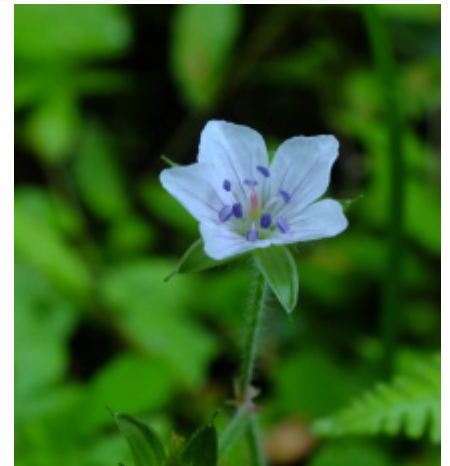
<クリ>

秋の味覚の代表であるクリ(栗)がゲート前に落ちていました。びっしりとトゲが密集したイガの中にクリの実が入っています。



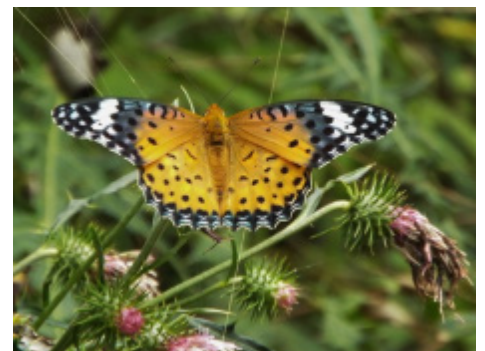
<サンショウ>

秋になると実は熟して赤くなり種が黒くなります。果皮は乾燥させて粉にすると、ウナギのかば焼きにも使われている香辛料になります。



<ゲンノショウコ>

可憐な花ですが、下痢などに効く生薬としてよく知られています。



<ツマグロヒョウモン> (メス)

きれいな羽を広げ、タイアザミの蜜を吸っています。

<ツリフネソウ>

名前の由来は、細い枝にぶら下がるような花の姿を、釣り下げられた帆かけ船に見立てたと言われています。花の後ろ(距)がくるっとうず巻きになっています。



秋はきのこの季節

きのこが生えるのには雨が重要です。今年の秋は雨が多く、やどりきでは、たくさんのきのこを見ることができます。きのこは毒を持っているものもあります。山で美味しそうなきのこを見つけても決して食べないでください。



<キヌガサタケの仲間>

白いレースのように広がった傘の上の頭の上には黒帽子が乗っています。きのこの女王とよばれています。



<カラカサタケの仲間>

傘を広げたような形で、高さは30cmと背の高いきのこです。



<イヌセンボンタケの仲間>

センボンという名前のおとおり、たくさん生えるきのこです。よくみると傘の一つ一つがとても繊細で幻想的な色合いのきのこです。

森林再生パートナー活動のご紹介

10月1日(土) 小雨が降りしきる中、森林再生パートナーの日揮株式会社が毎年恒例「日揮やどりき大会」が行われ、社員やそのご家族、総勢82名がやどりき水源林に集まりました。



水棲生物の観察

クラフトワーク

雨のため、予定していた間伐作業は中止となりましたが、水生生物の観察、森の癒やし体験、クラフトワーク、やどりきの散策でやどりき水源林をめぐり楽しみました。特に外国人の方には日本の自然に触れることができた、と大好評でした。

10月のピックアップ

初夏に白い花を咲かせていたヤマボウシが赤くて可愛い実をつけ、カメムシが美味しそうに果汁を吸っていました。
水源林では「秋を見つけよう」をテーマにご案内をしています、小さい秋を探しに来てみませんか？



11月の水源林

やどりき水源林では、美しい紅葉の季節が始まります。カエデは黄色から紅く変わり、銀杏は黄金色に染まります。
水源林では日が落ちる時間が早まり、気温も下がりますので十分な準備をしてお出かけください。